

病院における高温・低温物との接触災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	厨房にて、野菜を鍋で茹でた後、沸騰した鍋をコンロから後方のシンクに移動させようとした所、手を滑らせて、熱湯が右足・左肘・両大腿にかかり、火傷を負う。	35～299	100
3	11～12	食養科の調理室で、使用済みの食用油を再生処理後に再生した油をフライヤーに入れる為、コロが壊れていた油処理機を移動中、処理機の油が一杯だったので中の油が跳ねて左腕にかかり、肘下から手首を火傷した。	61～999	500
3	12～13	病棟1階女室詰所内で昼休憩中、流し台にある自分のコップを取ろうとして湯沸かしポットの蒸気出口の上に右前腕部が当たり、お湯もちょうど90度から100度に沸騰中だったため火傷をしてしまった。すぐに患部を水道水で冷やそうとあてたため、上皮がはがれてしまい重症になった。	58～99	50
3	23～24	栄養管理室の調理場内で、粥椀に入れたお粥を患者さんのお膳に乗せようとして運んでいる際に、手で3個積み重なるように持っていた粥椀のバランスをくずし、お粥が左前腕にかかり受傷した。	20～999	500
4	9～10	患者の配茶準備の為、3F病棟の食堂の流し台でポットから配茶用のキーパーにお湯を入れて、流し台の右側に置いた時にぐらついて、両手で持った時に左側に傾いて、左手にお湯がかかり火傷をした。立っていたキーパーの脚が、右側台に置いた時に一つ折れ曲がっていたため左側に傾いた。	52～299	100
7	11～12	入院患者に対して昼食の準備をするため、3階配膳室にて薬缶で湯を沸かし、ポットに湯を注ぎ入れようとして薬缶を持ち上げたところ、把手が外れ、中の熱湯が両足にかかった。	43～49	30

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html